



2024年10月31日

各位

会社名 明海グループ株式会社
代表者名 代表取締役社長 CEO 内田 貴也
(コード番号 9115 東証スタンダード)
問合せ先 取締役執行役員 高橋 あゆ子
電話番号 (03) 3792-0811

営業外費用の計上及び第2四半期(中間期)連結業績予想と 実績値との差異に関するお知らせ

当社の2025年3月期中間連結会計期間(2024年4月1日~2024年9月30日)における営業外費用の計上及び、2024年5月15日に公表した2025年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想値と実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 営業外費用の計上

為替相場の変動により、2025年3月期中間連結会計期間(2024年4月1日~2024年9月30日)において、営業外費用に為替差損2,195百万円を計上することとなりました。これは主に、外貨建債務の評価及び、為替予約の時価評価により生じたものです。

2. 2025年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想と実績値の差異(2024年4月1日~2024年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想 (A)	百万円 30,400	百万円 4,400	百万円 3,200	百万円 1,600	円 銭 47.39
当期実績 (B)	32,899	5,465	2,077	775	22.95
増減額 (B-A)	2,499	1,065	△1,123	△825	—
増減率 (%)	8.2%	24.2%	△35.1%	△51.6%	—
(ご参考)前年同期実績 (2024年3月期中間期)	32,313	6,042	2,406	1,888	55.80

(修正の理由)

当初想定為替レートを1US\$=135円としていましたが、想定より円安で推移したこと等により売上高は増加しました。費用面では、為替円安の影響を受けたものの、船費の減少もあり、営業利益も予想を上回ることとなりました。一方、営業外損益については、前述1.の為替差損の計上があり、経常利益、親会社株式に帰属する中間純利益は予想を下回ることとなりました。

以上